41-1　谷根千の坂道と階段をめぐって１　（距離約 4.5km）

三崎坂寺町

東京街歩きでは定番の、解剖坂・お化け階段・地蔵坂といった谷根千の坂や階段をめぐる。

【道順】

00 東京メトロ根津駅から異人坂→01 お化け階段から根津教会→02 根津神社→03 夏目漱石猫の家（旧居跡）→04 解剖坂→05 千駄木のだんだん→06 やぶした通り→07 団子坂→08 三崎坂谷中寺町→09 諏訪台道から蛍坂へ→10 谷中へ→11 富士見坂→12 雪見寺（浄光院）から西日暮里駅へ

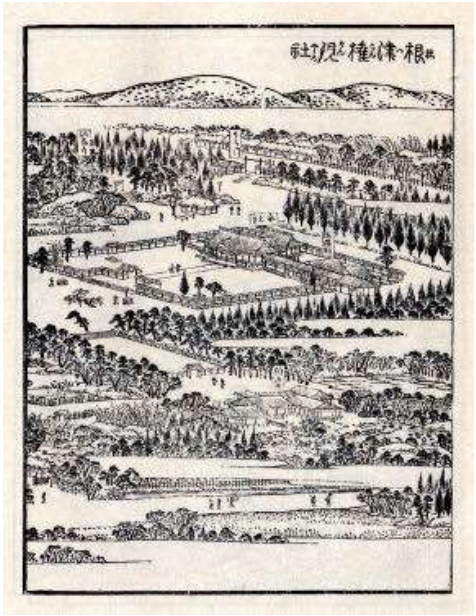
00 東京メトロ JR 根津駅から異人坂：東京メトロ JR 根津駅から北へと進んでスタートし、すぐに異人坂を上る。明治時代、坂の上に東京大学のお雇い外国人教師の官舎があったという。上りつめた南には、サトウハチロー、寺田寅彦旧宅跡碑などが残る。

お化け階段・根津教会

01 お化け階段から根津教会：下りるときと上るときで段数が違うと噂されて、お化け階段と呼ばれていたのだが、今はもう立派な坂となってしまったが、その脇に少し残滓もある。これを下ると大正８年（1919）に建てられたという、登録文化財指定のイギリス式の横板を下部から数センチずつ重なり合うように張った「下見板張り」と呼ばれる外観で、教会本体上にゴシック風の尖塔を戴く「洋風の木造建築物」の根津教会がある。ここでは演奏会が盛んに開かれる。

02 根津神社：現在の建物は 1706 年に造営したもので、もう 300 年を経過しているという根津神社は、根津権現とも呼ばれ、境内は数十種三千株が咲くツツジの名所として知られているほか、家宣公の胞衣塚、文豪憩いの石、森鴎外奉納の水のみ場などもある。

　また、境内にある乙女稲荷には、たくさんの紅い鳥居が並ぶ。隣は庚申塚と駒込稲荷も。



根津権現ツツジ山・夏目漱石旧居跡

03 夏目漱石猫の家（旧居跡）：当時，東京帝大英文科、 第一高等学校講師として教職にあった夏目漱石は、この地で初めて筆をとり『我輩は猫である』を著した。その後も同地で 『倫敦塔』『坊ちゃん』『草枕』などの作品を次々に発表した。

04 解剖坂：坂の下にある建物が日本医科大学の解剖棟にあたることから、この名前がつけられたといい、今でも白衣の人が多く通る。

解剖坂・やぶした通り

05 千駄木のだんだん：この辺りにある小さな階段道は、お化け階段とも呼ばれる。階段の手前には、ごく小さなハケに残った屋敷の森もある。そしえ、その向こうにも小さな階段道、千駄木のだんだんがあって、辺りがハケであることを証明している。

06 やぶした通り：団子坂から根津裏門坂までの道を藪下通り（藪下の道）といい、森鷗外や永井荷風など多くの文豪たちがこの道を歩いた。今も藪を思わせるように、少し緑が残る。森鷗外が後年過ごした観潮楼もこのあたりにあった。近くの本郷図書館には森鷗外記念室があり、彼の胸像が置かれている。

辺りには、江戸六地蔵のある専念寺（本堂は無い）、団子坂に続く大観音通り裏にはレンガ塀などが残る。

07 団子坂：この辺りに団子屋があったという団子坂には、ちょっと古めの石垣もあり。その先には、菊見せんべい、その先三崎坂には千代紙のいせ辰、そして銭湯や草履屋もある。

団子坂・西光寺近く木造三軒長屋

08 三崎坂谷中寺町：坂上に向かうにしたがい寺町となる。山岡鉄舟が徳川幕末と明治維新の際に、国事に殉じた人々の菩提を弔うために明治十六年に建立した全生庵には、落語家の三遊亭円朝の墓所があり、幽霊画五十幅が所蔵残されている。天龍院には、種痘所（後の現東京大学医学部）の開設などに尽力した蘭方医伊東玄朴の墓が、観智院には、初音六地蔵がならび、西光寺には、藤堂高虎ゆかりの韋駄天と十二神像のほか、「足病平癒・韋駄天安置」と刻まれた石碑もあって、足に効く？

09 諏訪台道から蛍坂へ：西光寺の手前小路などの昔懐かしい木造三軒長屋をみて、とうふ屋、ブリキ屋のほか”花へんろ”や“じねんじょ”といった小さなレストランもある諏訪台道を北へと進み、観音寺の築地塀、加納院の美しい紅い山門を見る。やや西へ下った宗林寺付近は、かつて蛍沢と呼ばれた蛍の名所であった。

10 谷中へ：諏訪台道へもどる。朝倉彫塑館（休館中）は、彫塑家朝倉文夫（1883～1964）の住居兼アトリエで、一見の価値がある建物なのだが、保存修復工事を実施中で見学できない。つくだに中野屋、谷中せんべいなどの店をのぞき、山門屋根のそりが美しい経王寺で、山門に残る戊辰戦争の弾痕を探し、景勝の地であったことから、通称「月見寺」ともよばれ、一茶句碑などがある月見寺（本行寺）を訪ねる。

11 富士見坂：「ゆうやけだんだん」へは下りずに、木造四軒長屋のある諏訪台道をさらに北進する。次は富士山が見える富士見坂と言いたいところだが、しっかり見えたのは1999年まで、それでもその雰囲気は残る。坂下の道は六阿弥陀道という。

富士見坂・地蔵坂

12 雪見寺（淨光院）から西日暮里駅へ：雪景色が素晴らしかったことから「雪見寺」とも呼ばれた淨光院には、江戸六地蔵の一つがある。そして、右手の地蔵坂を、あるいは諏方神社の先の石積みのある間の坂を下りて、西日暮里駅に出て終わる。

その 41-2　谷根千の坂道と階段をめぐって 2　（距離約 5.0km）

【道順】

東京メトロ根津駅→根津教会・お化け階段 1→根津権現→夏目漱石旧居跡（猫の家）→解剖坂→やぶした→お化け階段 2→団子坂→三崎坂→西光寺・四軒長屋→観音寺土塀・蛍坂→じねんじょ・朝倉彫塑館（休館中）→ゆうやけだんだん→経王寺・本行寺（→JR 日暮里駅）→諏訪台道・四軒長屋→養福寺・富士見坂→浄光寺→地蔵坂→JR 西日暮里駅

+＊＊＊+

オフィス　地図豆　yamaoka　mitsuharu

+＊＊＊+